

子ども読書活動推進事業 学校司書等配置に関する学校アンケート（H21）

○ 学校司書等の配置の効果

市町村名			市町村計	
学校数の合計			347	
学校司書が配置された効果について	(1)利用者数の変化	①増えた	286	84.6%
		②減った	0	0.0%
		③変わらない	51	15.1%
	(2)貸出冊数の変化	①増えた	270	79.9%
		②減った	2	0.6%
		③変わらない	65	19.2%
	(3)整備の状況	①進んだ	333	98.5%
		②進んでいない	5	1.5%

(1) 学校図書館利用者数の変化 ※多かった回答

- ①人がいる図書館になったこと、開館時間が増えることにより、図書館を利用する子どもたちが増えた。
- ②図書館が授業で使われるようになった。
 - ・以前は使用するときだけ明かりのつく暗い部屋だったが、人がいることでいつも明るく温かい図書館に変わった。
 - ・授業中の活用は勿論、休憩時間、朝読書の時間などに本を何冊も読む児童が増え、読む本の質も向上した。
 - ・学校図書館がくつろげる心地よい場となり、足を運ぶ児童が増えた。司書に会いに行くという感覚もある。

(2) 図書貸し出し数の変化 ※多かった回答

- ①人がいるようになったこと、借りる機会がふえたことにより貸出数が大幅に増えた。
- ②司書の働きかけにより貸出数が増えた。
 - ・昼休みのみ開館していたが、業間も開館することができたため、貸出冊数が増加した。
 - ・本を探してもらったり、紹介をしてもらうことで、貸し出し冊数が増加した。特に低学年での貸し出し数が増加。

(3) 学校図書館の整備の状況 ※多かった回答

- ①NDC（図書の日本十進分類）を意識した配架になり、本が探しやすい図書館になった。
- ②レイアウトを変更したり、展示物や掲示物が増えたことで、使いやすく魅力ある図書館になった。
 - ・NDCに従い、生徒に利用しやすい配架にするとともに、ソファや畳、展示コーナーの設置、書架の移動をした。
 - ・図書室の掲示を新しく変えてもらったり、破れた本の修理も熱心にしてもらい明るい図書室になった。
 - ・季節感のある壁面飾りやおすすめの本を定期的に変えたりして、明るく親しみやすい環境作りが進んだ。

(4) その他の変化や効果

- ・学校司書のサポートや他館からの図書貸し出しが受けられるので、図書館を利用しようとする教員が増えた。
- ・授業の調べ学習は担任一人で行っていたが、司書が本選びや探し方のサポートをすることで調べやすくなった。
- ・夏休みの集中職員作業日などを通して図書館への理解が一步進んだ。また、校内読書推進委員会も設置した。

○ 学校司書等の配置についての課題

- ①教職員との打ち合わせ等の時間が足りない。（同様45校 13%）
- ②学校司書等と教職員との連携のとり方が難しい。（同様96校 28%）
 - ・教職員とのコミュニケーションを図りにくく、図書館活用や読書推進のための理解を十分に得ることができない。
 - ・勤務時間が限られているため、図書担当教員や学級担任との情報交換や授業の相談等の時間をとることが難しい。
 - ・学校司書に対してどのような仕事をほしい、図書担当や他の教職員との連携をどのようにしていくことがよいか。